

会 議 録

会 議 名	第19期小金井市公民館企画実行委員の会議 第7回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成19年 3月 6日(火) 午後10時から正午		
開 催 場 所	公民館本館学習室A		
出 席 委 員	遠藤委員、大森委員、片山委員、末包委員、吉田委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	中福係長、岡野主事、渡辺主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 議題</p> <p>① 公運審、主催事業報告</p> <p>② 「人権講座」、「公民館におけるニート支援モデル事業」について</p> <p>③ 環境問題講座の提案について</p>		

会議結果

司会：遠藤委員

1 公運審、主催事業報告

中福： 2月6日に三者合同研修が実施された。この企画については、公運審から企画立案の段階から一緒に参加させて欲しいという要望があった。今回は、時間の都合から無理であったが、次回からそのようにしていきたい、と館長から報告があった。公運審からは1名の参加があった。本館の企画実行委員は全員参加した。2月15日に、東京都公民館連絡協議会主催の研修「公運審委員と職員の豊かな関係」が実施された。50名の参加で、西東京市の公運審からは8人の参加があった。公運審では、今「公民館の基本方針づくり」にむけての審議が行われています。3月9日には、作業部会がもたれます。また、職員の勤務体制と公民館運営を中心にして各市にアンケートをお願いしました。また、公運審委員長名で2回目のアンケートを実施しています。

末包委員：公運審も、企画実行委員も、自分のテリトリーにじっとしているのではなく、出て行かないといけないのではないかと。私が公運審の委員だったときには、審議会のときだけ出席するというのではなく、講座の企画、運営にも参加しました。審議会のときだけ出席していい審議が出来るのというものではないと思います。

中福：この状況は、以前から続いています。すぐに解決するという事ではないと思います。どうしたら、コラボな関係になるか、そのほうに力をいれるというのはどうでしょうか。

末包委員：交代で私たちも、公運審を傍聴してはどうでしょうか。参加しないで、わからないというのは良くないと思います。

大森委員：公運審と、企画実行委員の役割はどうなっているのでしょうか。はっきり区別ができていよう、できていないのではないのでしょうか。

中福：公運審は、館長の諮問機関であり、各種事業の企画実施を調査審議することとなっています。企画実行委員は各館で実際講座の立案、運営にあたります。三者で、方針づくりに当たるということに関しては、職員からも反対がありました。

渡辺：私は、一緒に調査、審議をすることに反対ではありません。役割分担について大枠そういうことはあるとは思いますが、企画実行委員が、公民館の全体のことについてもコメントすることは必要だと思います。

岡野：男女共同参画講座「子どもとわたしの明日さがし」の講座、別紙のとおり終了しました。

大森委員：最後のワークショップも良かったです。感想も多く出さ

れました。

末包：講師の鶴田先生から、「このタイトルは、すばらしい」というご意見をいただきました。また、米田先生には、かならずしも専門の分野でない内容を依頼しました。それなのに、大変努力して話してくれました。皆さん感動して涙を流していた方もいました。

中福：子ども体験講座は、3月17日に最後の講座となります。吉田委員と片山委員に協力をお願いしました。

岡野：本日午後1時半から、福祉会館まつりの実行委員会があります。よろしくお願ひします。

2 「人権講座」、「公民館におけるニート支援モデル事業」について

中福：東京都から、公民館宛に「公民館等におけるニート支援モデル事業」と、「人権講座」実施の要請がきています。ニート支援については、ニート本人や保護者を対象にした事業の要請がきています。実施する場合は、実行委員会を設置します。単発の講座ということではないと思います。

また、人権講座ということであれば、本館ではハンセン病への理解を深める講座をやってきましたが、この講座を「人権講座」の枠組みで出来るかどうか、考えたいと思います。本来、継続した取り組みというのが公民館には必要で、それが、今公民館では失われているものだと思います。

大森委員：市民団体で、このような問題で活動している方々がいるので、そういう団体に協力をお願いするのがよいのではないかな。

吉田委員：ニートの問題は、とても心配ですが、なかなか手をさしのべられない課題です。大きな問題だと思います。

片山委員：「ニート」という言い方自体差別的な言い方で、個人の問題という捉え方ではなく、ニートというものをつくりだしていく社会的背景こそ問題にしていく必要があると思います。今、「今の若いものは、権利ばかり主張する」という言い方がされます。しかし実際は、若いひとは子どもどきに、人権があるんだ、ということを教えられていないんです。自分に人権があることが分からなければ、他人の人権に思い至りません。今、「子供の権利条例」を、という取り組みが進んでいます。そのこともかかわっていると思います。

3 環境問題講座の提案について

中福：今、ゴミ問題が市の重要な案件になっています。公民館でも、緊急の地域の生活課題を考える講座を企画してはどうでしょうか。市の施策をPRするというのではなく、市民自身が、主

体的にこの問題をとらえて考えていく、そういうきっかけになる講座を、と考えています。

末包委員：市民講座などで、やるなら早いほうがよいのではないのでしょうか。

次回の企画実行委員の会議は、4月3日（火）10時から

提出資料	○平成19年度公民館主催事業予定表 ○男女共同参画講座報告 ○「福社会館まつり」ちらし
------	---